

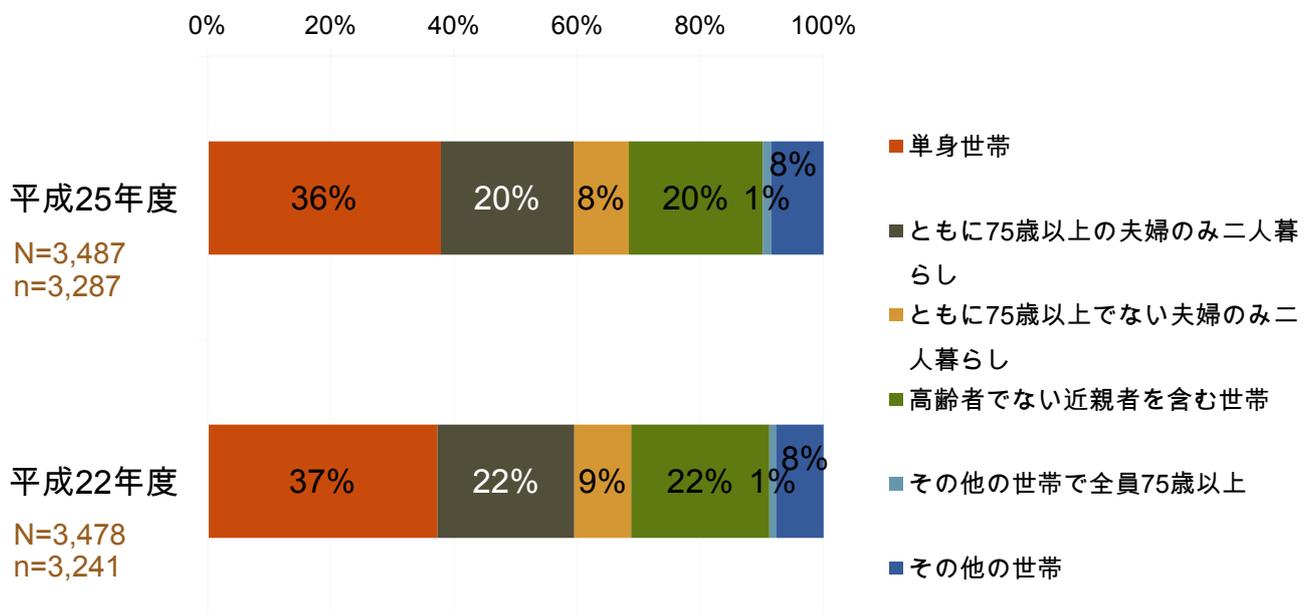
第6期神戸市介護保険事業計画策定に向けた実態調査 結果報告詳細

(在宅要支援・要介護者需要調査)

1

世帯構成

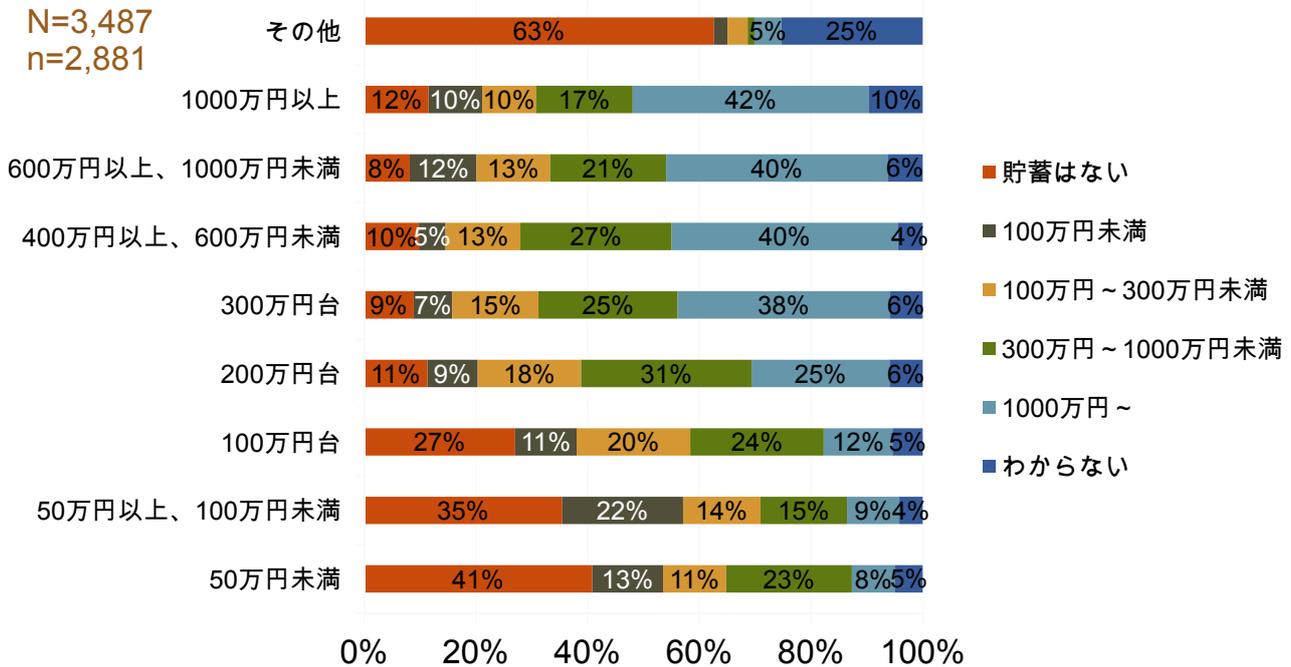
単身世帯が36%(37%)、ともに75歳以上の夫婦のみ二人世帯が20%(22%)となっている。



2

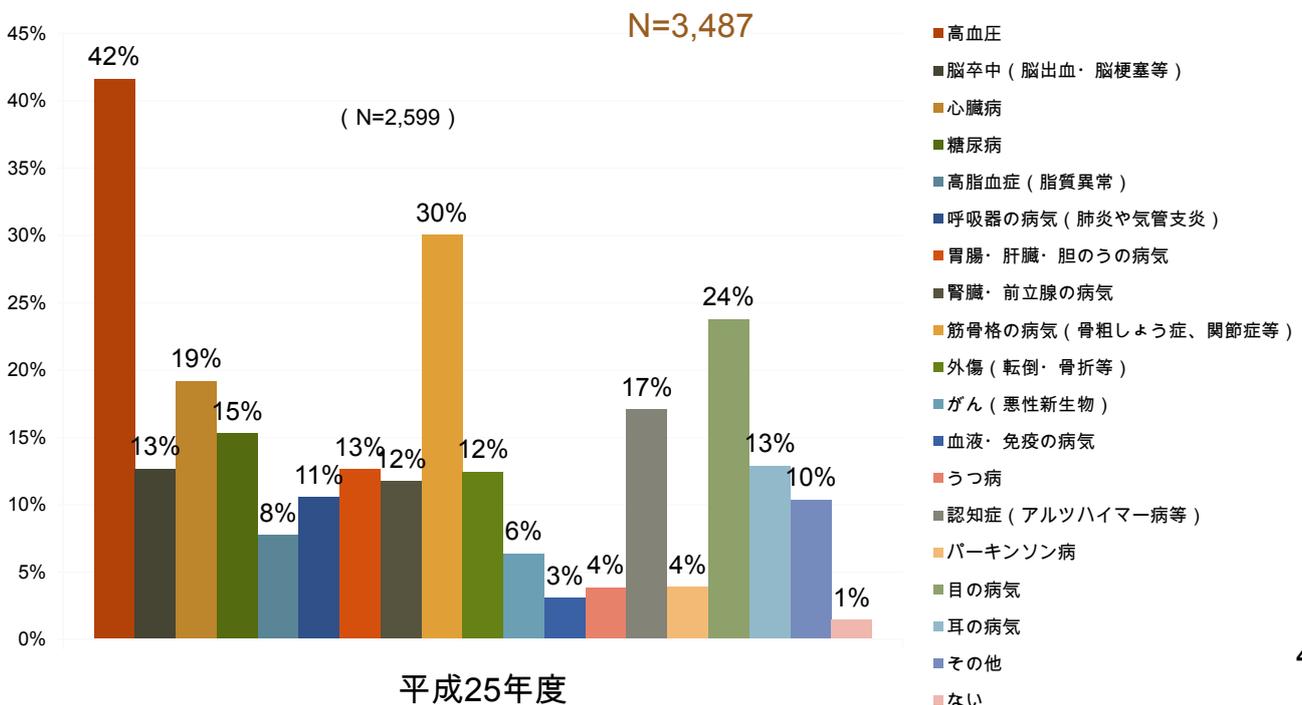
収入／貯蓄額

世帯収入200万円未満では「貯蓄額はない」が3割前後となっている。世帯収入300万円以上では貯蓄額「1000万円以上」が4割以上となっている。



罹患状況

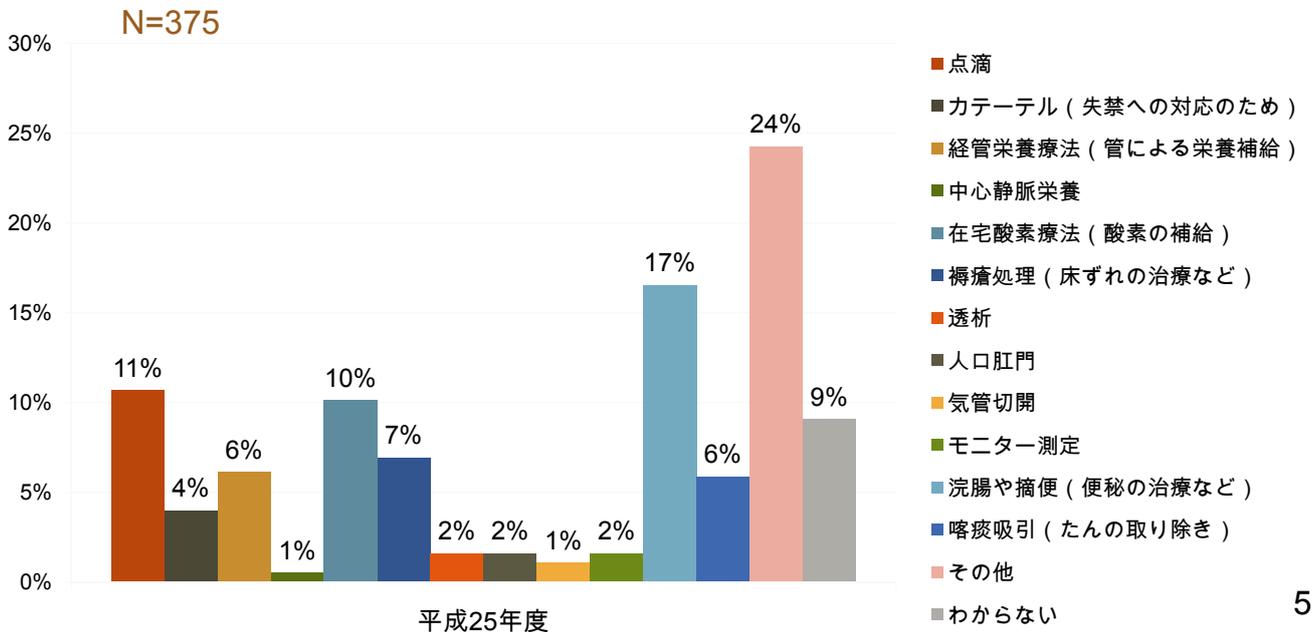
病気で多いものとしては、「高血圧」42% (41%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」30% (31%)、「目の病気」24% (23%)、「心臓病」19% (20%)などとなっている。



自宅での医療

自宅で受けている方は、20%(20%)。

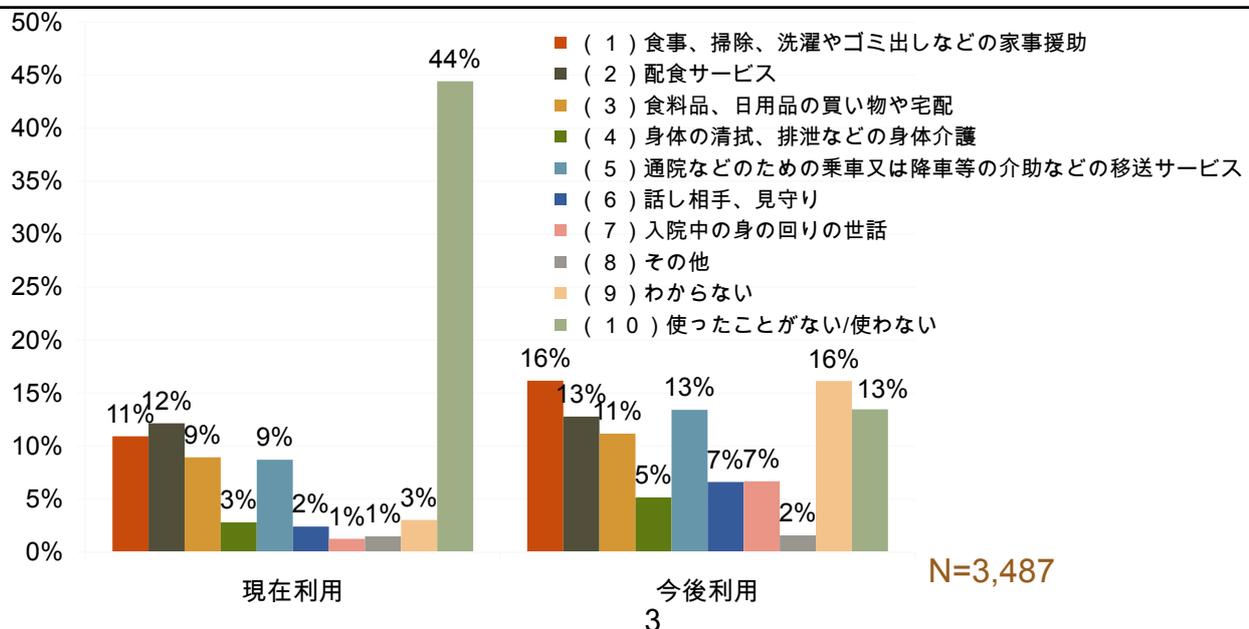
医療の種類として多いものは、浣腸や摘便17%(11%)、点滴11%(7%)、在宅酸素療法(酸素の補給)10%(6%)、褥瘡処理7%(4%)など。経管栄養療法、喀痰吸引はそれぞれ6%となっている。



サービスの利用

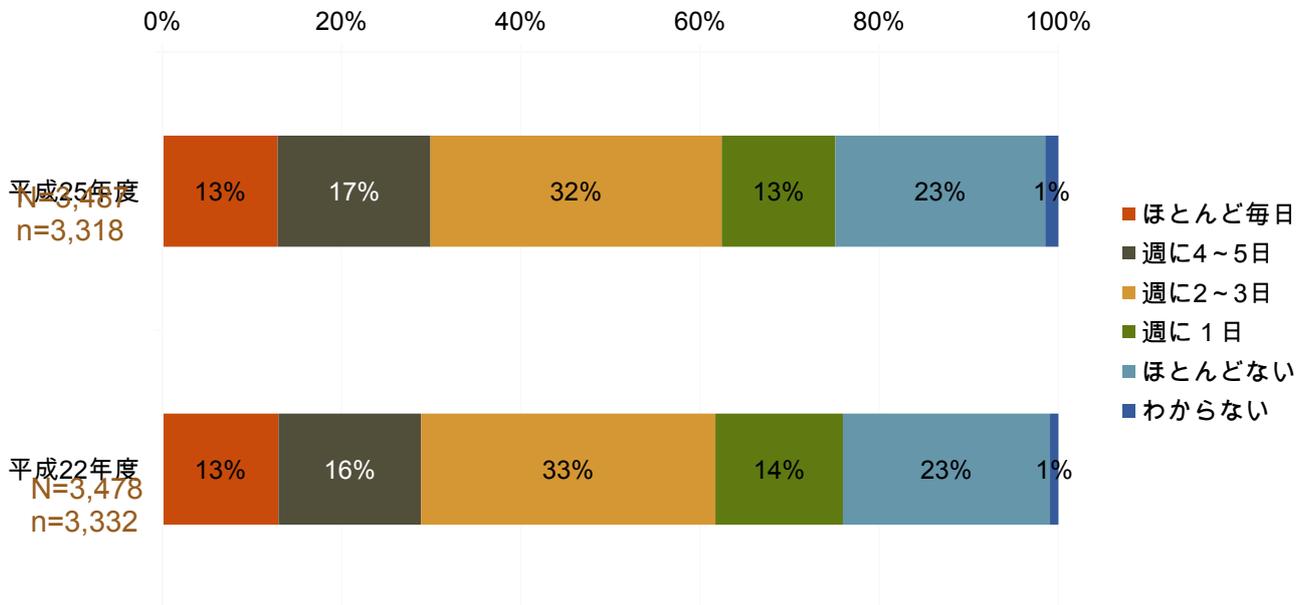
「使ったことがない」が44%(47%)、「食事、掃除、洗濯やゴミ出しなどの家事援助」11%(13%)、「配食サービス」12%(11%)、「食料品、日用品の買い物や宅配」9%(10%)、「移送サービス」9%(3%)などとなっている。また、「使ったことがない」は44%(48%)となっている。

今後利用してみたいサービスは、「食事、掃除、洗濯やゴミ出しなどの家事援助」が16%(29%)と最も多く、次いで「通院などのための乗車又は降車等の介助などの移送サービス」13%(20%)、「配食サービス」13%(18%)、「食料品、日用品の買い物や宅配」11%(19%)などとなっている。また、「使わない」が13%(5.9%)、「わからない」が16%(11%)となっている。



外出頻度

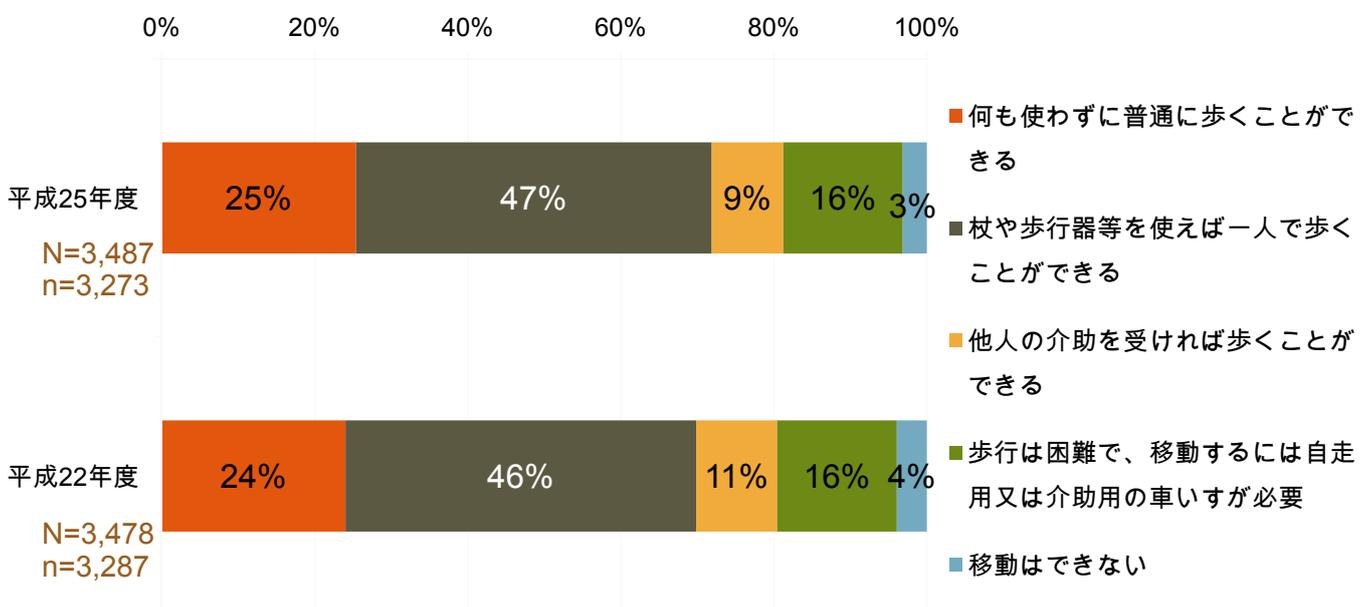
「週に2～3日」が32% (33%)と最も多く、次いで「ほとんどない」23% (23%)、「週に4～5日」13% (16%)、「ほとんど毎日」13% (13%)、「週に1日」17% (14%)の順となっている。



7

身体状況

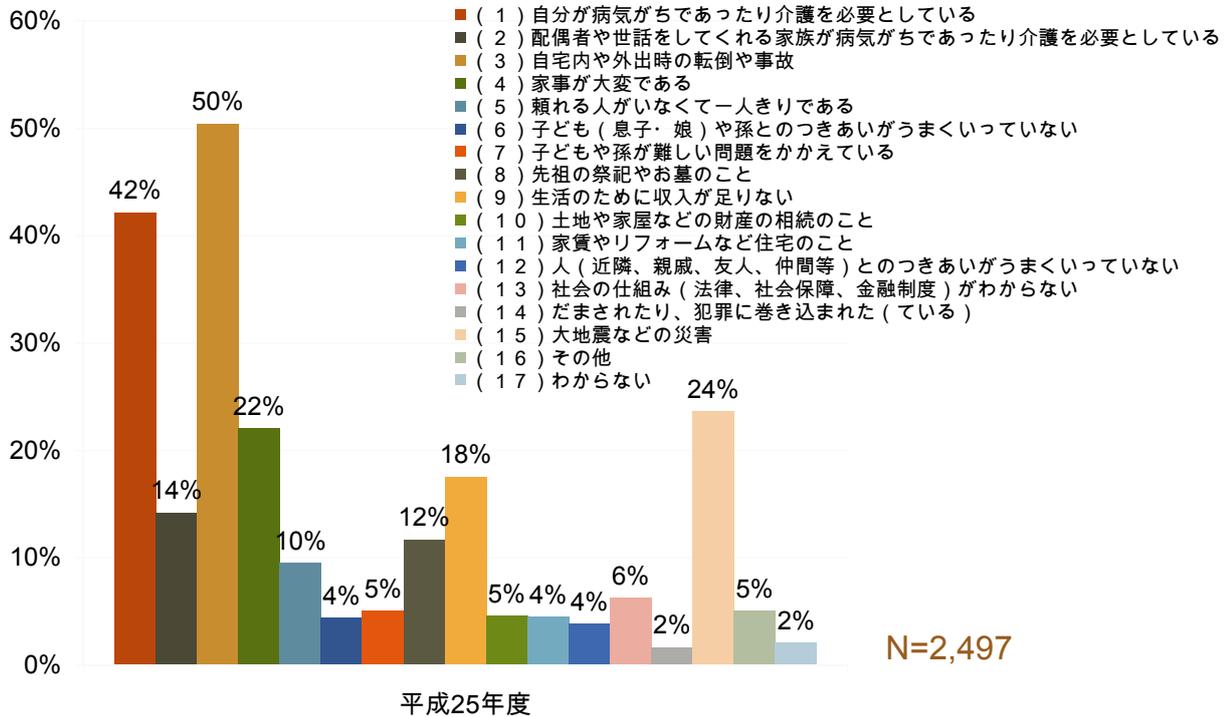
「杖や歩行器等を使えば一人で歩くことができる」が47% (46%)を占め、次いで「何も使わずに普通に歩くことができる」25% (24%)など。



8

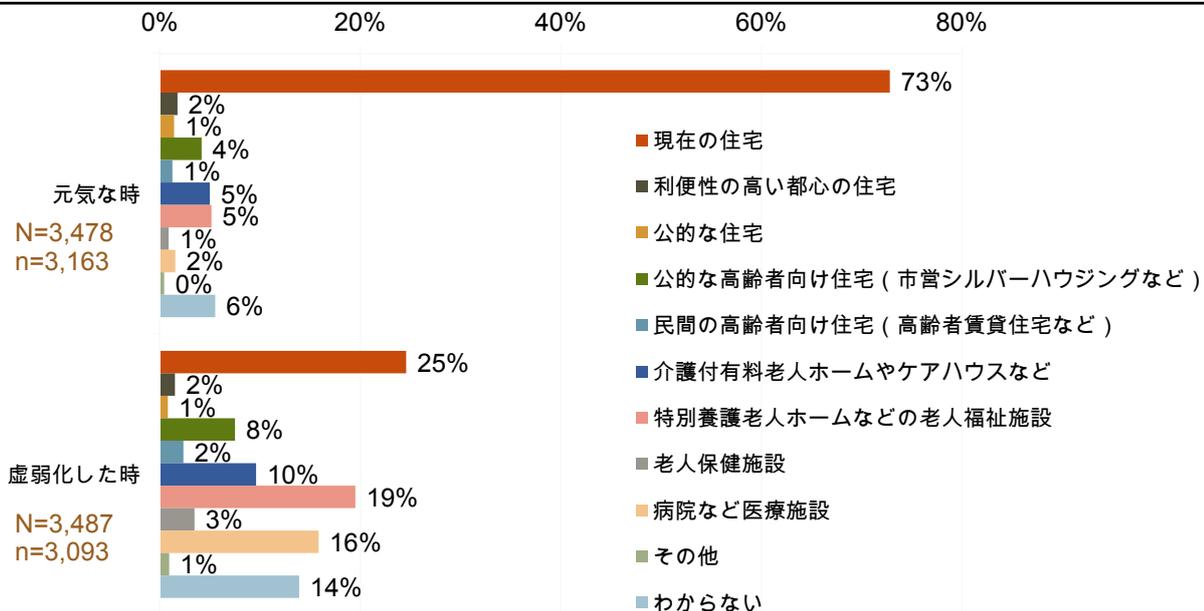
心配事

心配ごとがあると回答した人の割合（「心配がある」「多少心配がある」の計）が7割<76%（69%）>を占める。一方、「心配はない」は15%（15%）となっている。
 具体的な心配ごととしては、「自宅内や外出時の転倒や事故」50%（48%）、「自分が病気がちであったり介護を必要としている」42%（38%）などとなっている。



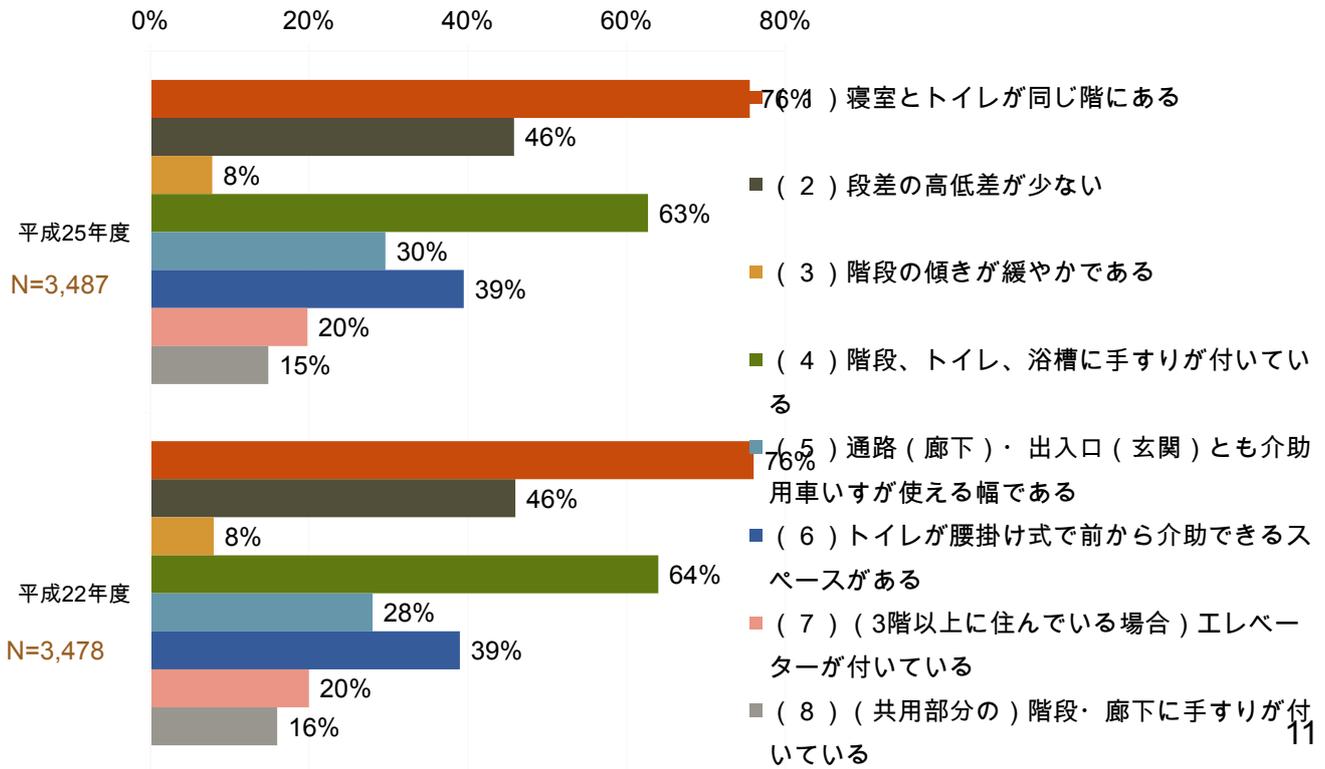
住まいの希望

「現在の心身の状態が維持できている間」では、「現在の住宅」が73%（67%）と最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの老人福祉施設」5%（4%）「介護付有料老人ホームやケアハウスなど」5%（2%）、「公的な高齢者向け住宅」4%（4%）などとなっている。
 「今以上に心身の状態が悪くなった場合」については、「現在の住宅」が25%（23%）、「特別養護老人ホームなどの老人福祉施設」19%（18%）、「病院など医療施設」16%（16%）、「介護付有料老人ホームやケアハウスなど」10%（6%）、「公的な高齢者向け住宅」8%（5%）などとなっている。また、「わからない」が14%（12%）となっている。



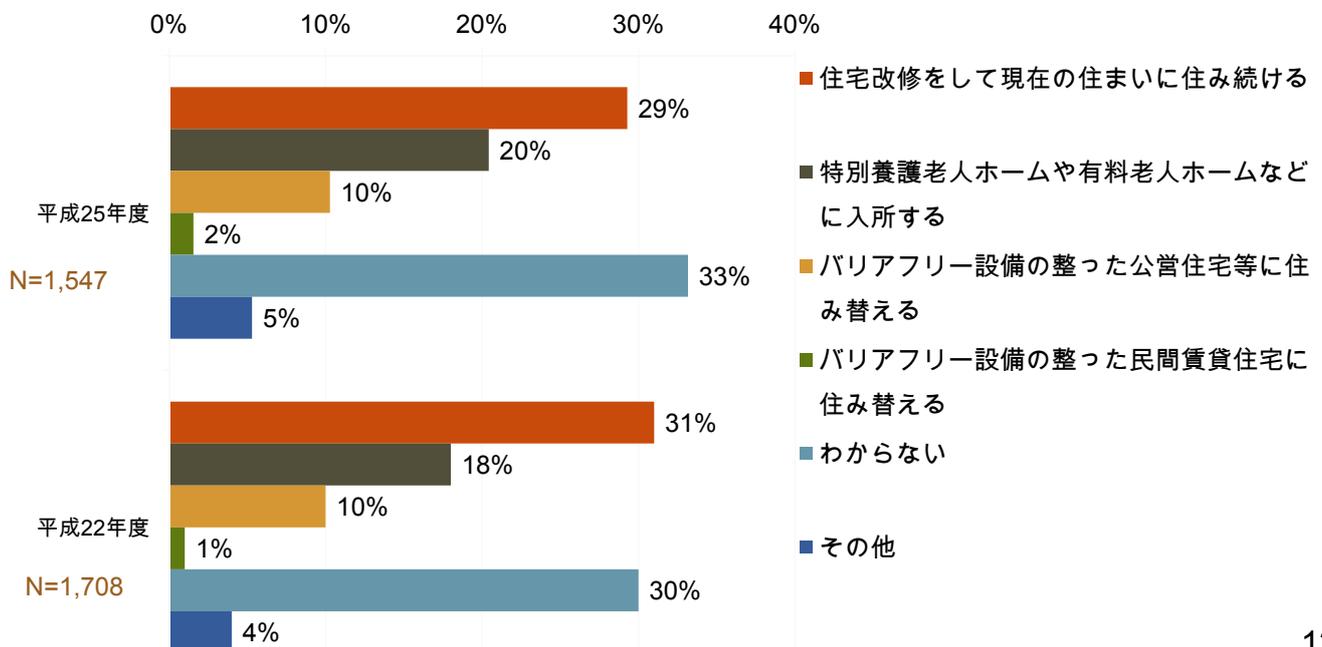
住まいのバリアフリー状況

バリアフリー化の状況はほぼ22年度調査と同様。



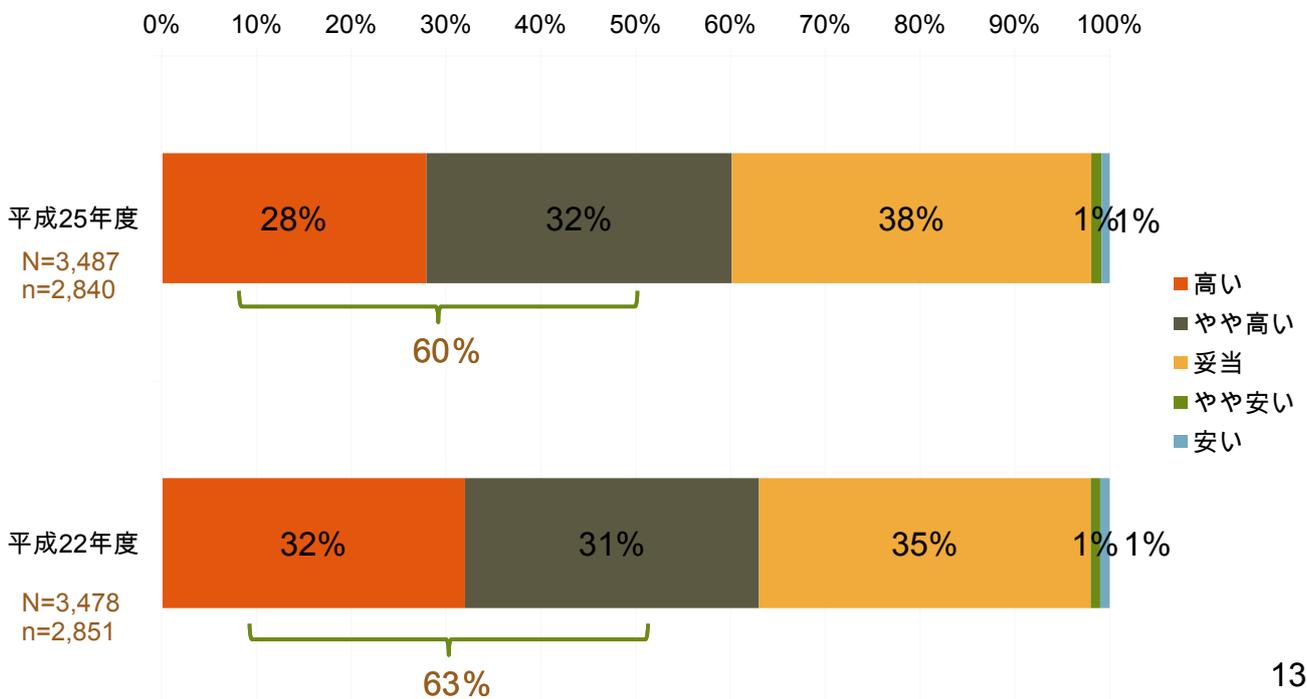
住まいのバリアフリー化の意向

バリアフリー化の意向では「住宅改修をして現在の住まいに住み続ける」が29%(31%)と最も多く、「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所する」が20%(18%)、「バリアフリー設備の整った公営住宅等に住み替える」が10%(10%)などとなっている。また、「分からない」との回答が33%(30%)となっている。



介護保険料の負担感

「高い」「やや高い」の計は60%(63%)、「妥当」は38%(35%)、「安い」「やや安い」の計は2%(2%)となっている。

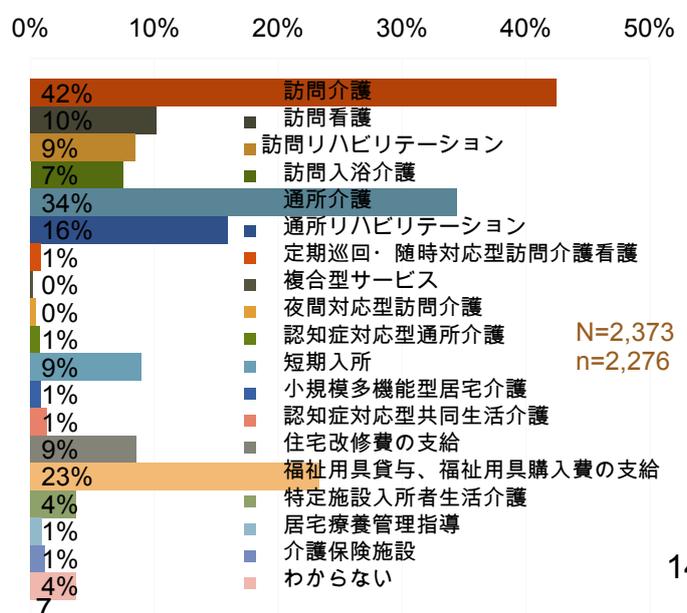
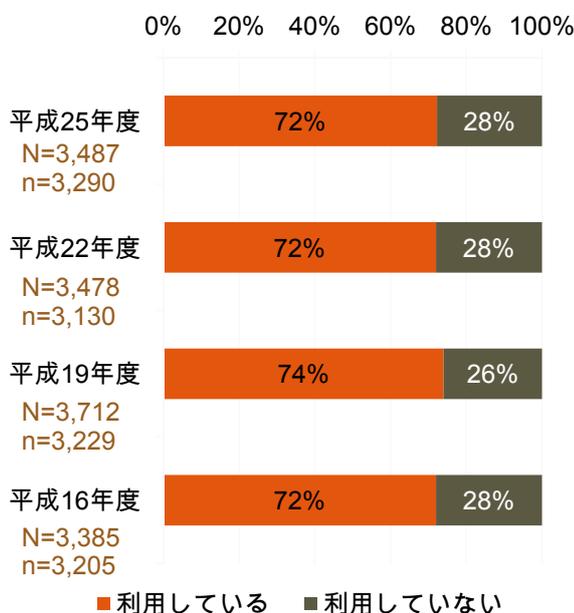


介護保険サービスの利用

現在、利用している人は全体の72%(72%)となっている。
 利用しているサービスでは、訪問介護は42%(50%)と最も多く、次いで「通所介護(デイサービス)34%(35%)」、「福祉用具貸与、福祉用具購入費の支給」23%(25%)、「通所リハ(デイケア)」16%(14%)、「訪問看護」10%(11%)、「短期入所」9%(12%)、「住宅改修」9%(11%)などとなっている。

サービス利用の有無

利用サービスの種類



介護者の状況

主な介護者の続柄としては、「子ども」が38% (38%)、「配偶者」が32% (31%)となっている。
 性別としては、「男性」31% (30%)、「女性」69% (70%)となっている。
 年齢構成としては、75歳以上が30% (29%)となっており、「70～74歳」が13% (12%)、「60歳代」が28% (28%)、「50歳代」21% (20%)、「40歳代」6% (9%)、「40歳未満」1% (1%)となっている。
 介護で仕事に何らかの影響があったと回答した人は21% (22%)となっている。

